



# 岡山高校生 ボランティア・アワード (復興支援岡山高校生アワード)

岡山県ボランティア・NPO活動支援センター「ゆうあいセンター」

所長 高平 亮

# 「ゆうあいセンター」とは？



## 目標

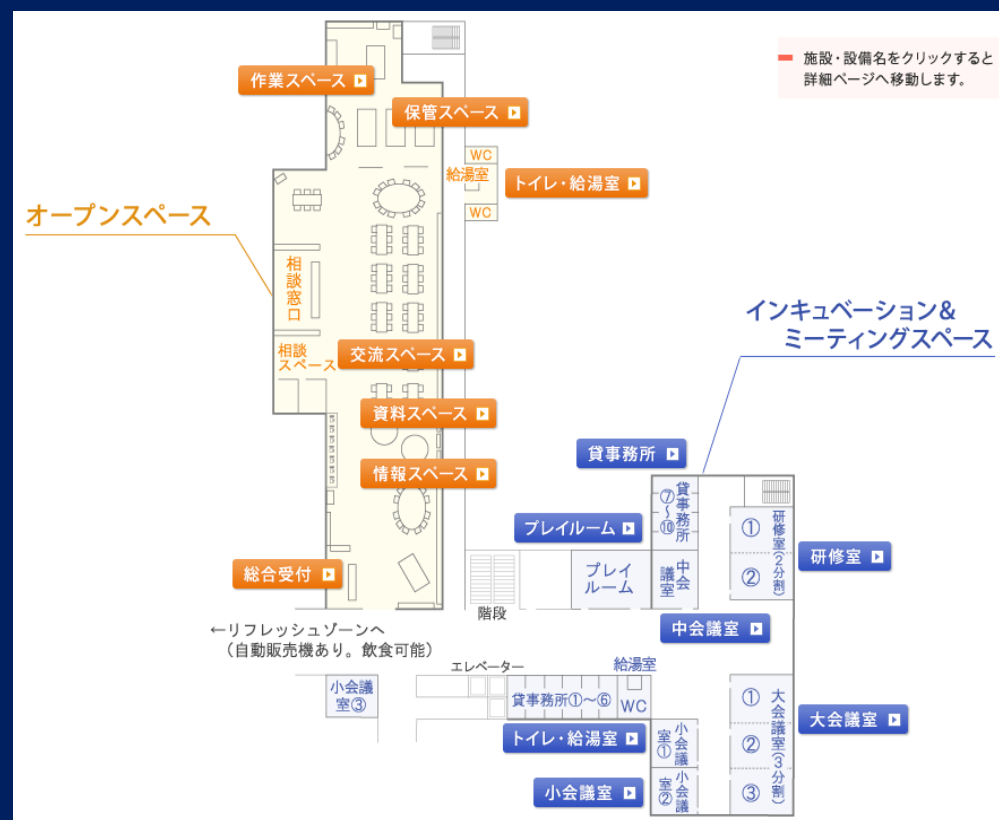
「ボランティアやNPOの活動を通じて、すべての岡山県民に「家庭」「職場(学校)」以外の居場所を提供することで、地域の課題解決や共助の促進に寄与する」

- 市民の社会参加の促進と参加機会の拡充
- 岡山県内27市町村における市民活動支援力の向上
- 効果的・効率的に市民活動を進めるための社会環境整備

# 「ゆうあいセンター」とは？



- 相談対応
- 情報の提供
- 設備・備品の提供
- 空間の提供
- 学習・交流機会の提供



- ① 岡山高校生ボランティア・アワードとは？
- ② アワードの企画に至った経緯
- ③ アワードの概要
- ④ 参画の方法



# 「岡山高校生ボランティア・アワード」とは？



## 趣旨

高校生によるボランティア活動を盛り上げ活性化していくために、高校生にとって魅力的で、社会から必要とされるようなボランティアを実践する高校生を表彰し、みんなで大いに褒めよう！というイベントです。

## 主催

岡山高校生ボランティア・アワード実行委員会

(一般社団法人倉敷未来機構、おかやまバトン、チャリティサンタ岡山支部、岡山県ボランティア・NPO活動支援センター「ゆうあいセンター」)

# 「岡山高校生ボランティア・アワード」とは？



2013年8月、地元新聞に紹介していただきました。  
(以下、記事の抜粋)

東日本大震災の復興支援を続ける県内の4団体が被災地との交流活動などに携わる高校生を表彰する復興支援岡山高校生アワード(※)を創設する。

次代を担う若者の活躍をたたえ、意欲を継続させるとともに息の長いサポートの実現を目指す。

※岡山高校生ボランティア・アワードに名称変更。



# 「岡山高校生ボランティア・アワード」とは？



## 本アワードの目指す成果・効果

- ① 表彰対象となる高校生に継続的な社会参加を促すこと。
- ② 岡山県内の高校が高校生の活動を継続的・発展的にサポートするための動機と情報を提供すること。
- ③ 表彰対象以外の高校生(同級生や後輩など)に活動の社会的な意義と評価を広め、参加を促すこと。
- ④ 地域全体が多様な視点から高校生を評価すること、また、そのための視点を養うこと。

# アワードの企画に至った経緯



## 「おかやま災害たすけあいネット」

東日本大震災の発生後、岡山県ボランティア・NPO活動支援センター「ゆうあいセンター」が実施するセミナー事業の実行委員組織として岡山県内の避難者支援団体や防災団体が構成員となって発足しました。

1. ニーズと資源を可視化する情報基盤を運営すること
  2. 平時からの交流や研修機会を提供すること
  3. 自治体や他のネットワークとの協働主体となること
  4. 支援ノウハウや助け合いの文化を次世代へ継承すること
- 以上の機能を有するネットワークです。



おかやま災害たすけあいネット



## アワードの企画に至った経緯



東日本大震災の支援に携わる大学生の取り組みは頻繁にメディアに取り上げられているのに高校生の取り組みはあまり知られていない。また、高校生の取り組みを評価することで学校の文化・行事としての定着を促すこともできるのではないか。

「おかやま災害たすけあいネット」世話人  
一般社団法人倉敷未来機構 代表 坂ノ上博史さん

# アワードの企画に至った経緯



## コンセプトの検討(企画当初)

「大人の役割はがんばった子どもをほめること」

- ① 遠く離れた被災地を思い、自分にできることを考え、汗を流した高校生をねぎらい、称えたい！
- ② 高校生たちの社会貢献活動を一過性のものとせず、次世代に波及・伝承していくためのお手伝いをしたい！

これらの趣旨に賛同してくださる「大人」を募り、社会全体で子どもたちをほめるための機会をつくることとして企画の検討を開始しました。

## アワードの企画に至った経緯



### 悩んだこと・悩んでいること

- 高校生の取り組みに評価を付与することが適切か？
- 誰がどのような指標で評価をするべきか？
- 高校生及び高校に与える影響に十分に配慮できているか？
- どのようにして地域(大人)を巻き込んでいくか？

そのほかにも「エントリー数」など、解消されていない悩みも多く残りますが、残された時間でできるかぎりの検討と改善を重ねていく予定です。

## アワードの概要(案)



賞区分	評価機関など
アワード大賞	審査員
復興支援賞	審査員
共感賞	高校生(実行委員会及びアワード参加者)

将来的には企業・行政・大学等の協賛を募り、それぞれの視点で評価を付与するとともに社会全体で高校生を称えられるようなアワードとなることを目指します。

# アワードの概要(案)



審査員の属性など	それぞれに期待される役割など
大学生(実践者)	高校生にとって身近な見本となる先輩からの評価
岡山県内の大学教授	教育及び地域活動の専門家による評価
地域の高校生タレント	同世代からの評価
ゆうあいセンター所長	社会活動の効果や意義に対する評価

本年度の審査員として上記のような方々に就任を依頼する予定となっています。

# アワードの概要(案)



## 評価指標(1)

### 「自発性」

学校や教師にやらされているのではなく、  
自分自身で必要性を感じ、実践できているか。

### 「計画性」

突発的な行動ではなく、限られた時間を  
有効に活用するための工夫がされているか。



# アワードの概要(案)



## 評価指標(2)

### 「巻き込み」

ひとりよがりなものではなく、周囲の理解や協力を引き出しているか。

### 「創意・工夫」

単純な模倣ではなく、自らの創意・工夫が活動にあらわれているか。



# アワードの概要(案)



高校生・大学生を主体とした運営体制の構築

「高校生による実行委員会の結成とアワードの運営」

- 多様な価値観に基づいた評価を付与することができる。
- 高校生自身が社会における役割や社会とのつながりを実感することができる。

「大学生による運営ボランティア」

- 高校生への指導・補助を通じて大学生自身の責任感を養うことができる。
- 高校生の身近な目標や相談相手となり、相互によい影響を与えあうことができる。



# アワードの概要(案)



開催日:平成26年2月22日(土)

時間:10:30~18:00

場所:未定(岡山県津山市内の会場を調整中)

内容:

- ①高校生によるプレゼンテーション
- ②基調講演(中村暖さん/京都造形芸術大学一回生)
- ③表彰式

※確定情報は後ほどご紹介する特設フェイスブックページにてご確認ください。

## アワードの概要(案)



## 中村 暖さんプロフィール(個人ツイッターより抜粋)

16歳SKS世界一周 / 佐賀倫理法人会最年少講師 / 社会起業 / 千住博  
共催展覧会実行委員長 / 第4回日本ファンドレイジング大賞特別賞受賞  
(高校生受賞) / SocialDesign / ファンドレイザー / 将来は芸術社会起業  
家ArtSocialEntrepreneurという新しい職のカテゴリーを創り活躍すること  
/ 現在18歳!

## 参画の方法



今月末より、各種エントリー・参加を募集します。

## アワードへのエントリー

平成25年10月25日(金)～平成25年12月27日(金)

## 高校生実行委員会への参加

平成25年10月25日(金)～平成25年11月12日(火)

## 参画の方法



本日も来場の皆様へのお願い

**高校・高校生への周知拡大にご協力ください。**

「岡山高校生ボランティアアワード」特設フェイスブックページ

<https://www.facebook.com/okayama.highschoolstudent.award>

あわせて「おかやま災害たすけあいネット」にご登録ください。

<http://blog.canpan.info/ostnet/>

「岡山高校生ボランティア・アワード」のご紹介は  
以上になります。  
ご清聴ありがとうございました。

